実務経験のある教員等による授業科目一覧【**柔道整復学科／昼間Ⅱ部**】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
整形外科学２	2	山田眞人		
骨折総論	1	水江弘太		
脱臼総論	1	桑野幸仁		
軟部組織損傷総論	1	江良竜弘	新地秀臣	
軟部組織損傷各論	2	西原　清	浪尾敬一	
固定法総論	2	山根弘樹	浪尾敬一	水江弘太
治療法総論	1	山根弘樹		
基礎柔道整復学１	1	田中　満	山根弘樹	
基礎柔道整復学２	1	田中　満		
頭部・体幹・上肢帯の骨折	1	浪尾敬一		
上腕の骨折	1	社　由洋		
前腕・手部の骨折	1	桑野幸仁		
下肢の骨折	2	黒木文葉	桑野幸仁	社　由洋
上肢の脱臼	1	西原　清		
下肢の脱臼	1	西原　清		
臨床演習１	1	山根弘樹		
臨床演習２	1	浪尾敬一		
臨床演習３	1	宮越亮典	勝田淨邦	
総合柔道整復学	9	田中　満	浪尾敬一	山田眞人
		黒木文葉	山根弘樹	新地秀臣
		水江弘太		
柔整実技１（基礎固定）	2	山根弘樹	江良竜弘	浪尾敬一
		水江弘太		
柔整実技２（総合①）	1	山根弘樹	新地秀臣	
柔整実技３（総合②）	2	山根弘樹		
柔整実技４（骨折）	1	黒木文葉		
柔整実技５（脱臼）	1	橋爪　務	水江弘太	
柔整実技６（軟損）	1	田中　満		
柔整実技７（総合③）	14	黒木文葉	浪尾敬一	田中　満
		社　由洋	宮越亮典	山田眞人
		水江弘太	新地秀臣	
臨床実習Ⅰ	1	社　由洋		
臨床実習Ⅱ	1	社　由洋		
臨床実習Ⅲ	1	社　由洋		
臨床実習Ⅳ	1	社　由洋		
合　　計	**57**			

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	科学1					担当者名		菅　典雄			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	科学の中でも主に社会科学（経済学）に着目し、資本主義経済の成り立ちにはじまり、柔道整復施術（整骨院）にかかわる技術やものの評価について学ぶ。
成績評価	定期試験および追・再試験の結果を総合的に各鞍して評価する。
その他	菅　典雄（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	科学・経済学入門・地域包括ケア
2	成功治療院の条件　柔道整復師とは
3	サクセスストーリーはプロフェッショナルが作る
4	治療院の経営
5	共感の治療とは
6	口動人より行動人たれ
7	より良いリーダーになるには
8	仕事人は荒野を目指せ
9	ドラッカーの経営学
10	ドラッカーのイノベーション
11	ドラッカーのマネジメント
12	ドラッカーのコンセプト
13	コトラーの経営学
14	利益・集客のマーケティング・皆がリーダー
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	科学2	担当者名	井浦　ひとみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	臨床現場で応用できる知識を身につける。
成績評価	期末試験・知識及び授業態度を総合して評価する。
その他	井浦　ひとみ（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	キャリアと豊かな仕事生活＞働くということ
2	キャリアと豊かな仕事生活＞仕事への取り組み方 ビジネスマナーの基本
3	ビジネスマナーの基本＞ビジネスマナーは社会人としての基本 職場でのコミュニケーション
4	ビジネスマナーの基本＞円滑なコミュニケーションのために　社会人としての身だしなみ
5	就業中のマナー＞出社から退社までの基本ルール
6	就業中のマナー＞仕事中の態度や行動 感じのよい挨拶
7	就業中のマナー＞感じのよい挨拶 おじぎの基本とお客さまとの接し方
8	指示の受け方と報告 ・ 連絡 ・ 相談＞指示を受け話を聞くポイント
9	指示の受け方と報告 ・ 連絡 ・ 相談＞報告の仕方
10	指示の受け方と報告 ・ 連絡 ・ 相談＞中間報告 ・ 相談と忠告の受け方
11	マナーの模擬試験
12	話し方の基本＞印象がよくビジネスにふさわしい話し方 ビジネスの場にふさわしい言葉づかい
13	話し方の基本＞プレゼンテーションの基本と自己紹介
14	理解度チェック、試しにやってみよう！
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	保健体育理論1					担当者名		得本　啓次			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。 適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本講義は生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格取得を目指す。
成績評価	レポート30%，試験70%
その他	得本　啓次(実務経験なし)

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	改訂版　生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人　国際学園
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1）ガイダンス，２）生涯スポーツトレーナーとは　【動画：水嶋理事長】，3）生涯スポーツトレーナー概論（教本）
2	1）e-learning，人体の区分と名称，身体の方向をあらわす用語，代表的な関節運動，脊柱２）解剖生理学,3）骨の役割,骨の構造,筋の分類,骨格筋について，4）骨と関節
3	1）e-learning,筋収縮のメカニズム①②(8分)(6分)，２）筋肉のしくみとはたらき（教本）
4	1）e-learning「スポーツ」「運動」の必要性（7分），ファンクショナルトレーニングとは（14分），正しい姿勢とプランク(24分)
5	1）e-learning，基礎動作の重要性,上肢の動きについて，下肢の動きについて，２）発達障害と不器用さ,3）全身を連動させた回旋運動について
6	1）e-learning，プログラミングの重要性について(12分)，運動指導におけるコーチングについて(31分)
7	1）e-learning子ども、高齢者運動指導の基礎知識(22分)，高齢者の運動指導(23分),2）児童期の運動指導(17分)，
8	1）高齢者の身体とトレーニング（教本），2）子供の身体とトレーニング（教本）
9	1）e-learning医療行為と医療類似行為(11分)，禁止事項(11分)，
10	1）用語解説（教本）
11	1）スポーツ心理学
12	1）栄養素の基礎知識、2）身体づくりと栄養
13	1）エネルギー代謝（ATP再合成）
14	1）股関節ストレッチバンド使用方法
15	1）生涯スポーツトレーナーベーシック試験兼終講試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	保健体育理論2	担当者名	進藤和代、長野史尚、得本啓次

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これからの健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本授業は主に実技指導を中心に行う。生涯スポーツトレーナー（アドバンス）の資格取得を目指す。
成績評価	定期試験、平常点（出席率、発表、提出物）を総合して評価を行う。
その他	進藤和代（実務経験なし）、長野史尚（実務経験なし）、得本啓次（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	生涯スポーツトレーナー教本	水嶋昭彦	BABジャパン
参考図書	背骨コンディショニング 世界一わかりやすいパーソナルストレッチ 背骨コンディショニングパーソナルトレーナー教本 背骨コンディショニングインストラクター教本 Ｔボールティーチャー指導教本		

回数	授　業　計　画
1	ガイダンス（受講上の注意等）、生涯スポーツトレーナーアドバンスについて、柿谷先生動画視聴
2	ストレッチ
3	背骨コンディショニング　基礎理論,アライメントチェック
4	背骨コンディショニング　体操
5	パーソナルストレッチ／シェイキング,ムービング（上半身）DVD使用
6	パーソナルストレッチ／シェイキング,ムービング（下半身）DVD使用
7	ファンクショナルトレーニング／日常で出来る運動
8	ファンクショナルトレーニング／運動7つ基礎動作 （プランク、プル、プッシュ、ヒンジ、スクワット、ランジ、ローテーション）
9	ティーボール　1/4　講義／概論，必要性，魅力
10	ティーボール　2/4　講義／ルール，審判方法，運営方法，指導法
11	ティーボール　3/4　実技／捕る投げる打つの基礎動作
12	ティーボール　4/4　実技／ゲーム形式練習
13	高齢者運動指導
14	子どもの運動指導
15	総括・課題作成提出

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	保健体育演習1	担当者名	山根　弘樹（水江　弘太）

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数		30				

授業概要	柔道教育は競技を目的とするものではなく柔道整復師の技術のバックボーンである手技や人格の形成、心身の鍛錬を目的とし、人としての振舞いの基本、礼儀作法の習得を最終目標とする。
成績評価	授業態度及び定期試験を総合して評価する。
その他	山根弘樹（実務経験なし）、水江弘太（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	なし		
参考図書	イラスト柔道の形	品川区柔道会	五月書房

回数	授　業　計　画
1	柔道着着用時の注意事項、帯の結び方説明　①各種礼法、動作説明、②自然本体説明（右、左）③各種受け身方法説明
2	①②③復習
3	①②③④釣手、引手の説明　⑤投技㋐大腰説明
4	①②③復習　⑤投技㋐復習と㋑背負い投げ説明
5	①②③復習　⑤投技㋐㋑復習
6	①②③復習　⑤投技㋐㋑復習と㋒体落説明
7	①②③復習　⑤投技㋐㋑㋒復習
8	①②③復習　⑤投技㋐㋑㋒復習と㋓払腰説明
9	①②③復習　⑤各投技㋐㋑㋒㋓復習
10	①②③復習　⑤各投技㋐㋑㋒㋓復習　⑥崩し説明、その方法等
11	①②③復習　⑤各投技、⑥を使って㋐～㋓練習　投の形⑦浮落説明
12	①②③復習　⑤各投技、⑥を使って㋐～㋓練習　投の形⑦復習と⑧背負投説明
13	①②③復習　⑤各投技、⑥を使って㋐～㋓練習　投の形⑦⑧復習と⑨肩車説明
14	①～⑨復習と試験に備え練習等
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	保健体育演習2	担当者名	得本　啓次

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	柔道の礼節・基本的で安全な動きを身につける。この授業では特に投げ技の基本を中心に実技を行う。
成績評価	授業態度及び定期試験を総合して評価する。
その他	得本　啓次（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	礼法・前回り受身
2	前回り受身・横受身・後受身
3	背負投(乱取）・受身
4	背負投(乱取）・受身
5	浮落練習①
6	浮落練習②
7	浮落練習③
8	背負投（投げの形）練習・受身
9	背負投（投げの形）練習・受身②
10	肩車（投げの形）・受身
11	肩車（投げの形）・受身
12	大腰（乱取）・受身
13	試験に向け練習
14	試験に向け練習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	外国語					担当者名		工藤　和男			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	「人体の器官」では人体の機能をつかさどる各器官の英語表現を「英作文演習」では医療現場で使用される英語表現を学習する。本学習により医療従事者にとっての英語表現の基礎を習得させる。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する
その他	工藤　和男（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	授業計画に基づいて資料を作成し都度生徒へ配布		
参考図書	看護英語の基本用語と表現	著者　円城康子/川越栄子	ﾒｼﾞｶﾙﾋﾞｭ社

回数	授　業　計　画
1	人体の器官１（内臓器官）英作文演習　医療現場での英語１（自己紹介）
2	人体の器官２（心臓）英作文演習　医療現場での英語２（病棟案内ー１）
3	人体の器官３（消化器官）英作文演習　医療現場での英語３（病棟案内ー２）
4	人体の器官４（膵臓の働き）英作文演習　医療現場での英語４（食事）
5	人体の器官５（脳/耳）英作文演習　医療現場での英語５（排泄）
6	人体の器官６（頭部と頚部）英作文演習　医療現場での英語６（入浴）
7	人体の器官７（目）英作文演習　医療現場での英語７（睡眠）
8	人体の器官８（皮膚の構造）英作文演習　医療現場での英語８（病歴聴取ー健康上の習慣）
9	人体の器官９（腎臓）英作文演習　医療現場での英語９（病歴聴取ー排泄）
10	人体の器官１０（呼吸器系）英作文演習　医療現場での英語１０（病歴聴取ー手術、薬、病状）
11	人体の器官１１（口と歯）英作文演習　医療現場での英語１１（血圧検査/体温検査）
12	人体の器官１２（脊髄/末梢神経）英作文演習　医療現場での英語１２（血液検査/尿、便検査）
13	人体の器官１３（血管/筋肉と骨その結合部）英作文演習　医療現場での英語１３（投薬）
14	人体の器官１４（全身の骨格）英作文演習　医療現場での英語１４（注射、包帯）
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	解剖学1（運動器系）／①	担当者名	田中　満

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	人体の構造と形態を中心に、機能および臨床との関連において教授する。ここでは、解剖学の総論に加えて特に肉眼で見ることができる巨視解剖学のうち、運動系としての骨格系の講義を行う。
成績評価	原則として中間試験、定期試験および追・再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	田中　満（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	解剖学　改訂第２版	岸清ほか著	医歯薬出版
参考図書	人体解剖学	藤田恒太朗	南江堂

回数	授　業　計　画
1	運動学系（骨格系ー１総論-骨の役割、骨の形状による分類、骨の構造、骨の発生と成長）
2	運動学系（骨格系ー１総論-骨表面の形状（性状）についての用語、骨の連結）
3	運動学系（骨格系ー２各論-脊柱）
4	運動学系（骨格系ー２各論-胸郭）
5	運動学系（骨格系ー２各論-上肢骨）
6	運動学系（骨格系ー２各論-上肢骨）
7	運動学系（骨格系ー２各論-上肢の関節）
8	中間試験
9	運動学系（骨格系ー２各論-下肢骨）
10	運動学系（骨格系ー２各論-下肢骨）
11	運動学系（骨格系ー２各論-下肢の関節）
12	運動学系（骨格系ー２各論-下肢の関節）
13	運動学系（骨格系ー２各論-頭蓋骨）
14	運動学系（骨格系ー２各論-顎関節、復習）
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	解剖学1（運動器系）／②	担当者名	田中　満

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	柔道整復師としての必要な解剖学の知識、ここでは筋肉について講義する。
成績評価	定期試験および追・再試験の結果を総合的に各鞍して評価する。
その他	田中　満（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	解剖学　改訂第２版	岸清ほか著	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	骨格筋について（形態と起始停止、作用、補助装置、神経）
2	上肢の筋①（上肢帯の筋～肩甲下筋）、上肢帯の筋②（烏口腕筋～肘筋）
3	下肢帯の筋①（腸腰筋～大腿方形筋）
4	下肢帯の筋②（縫工筋～外閉鎖筋）
5	頭部、頸部の筋
6	胸部、腹部の筋
7	背部の筋
8	上肢帯の筋③（円回内筋～方形回内筋）
9	上肢帯の筋④（腕橈骨筋から示指伸筋）
10	上肢帯の筋⑤（短母指外転筋～背側骨間筋）
11	下肢帯の筋③（大腿二頭筋～短腓骨筋）
12	下肢帯の筋④（下腿三頭筋～短指伸筋）
13	下肢帯の筋⑤（母指外転筋～背側骨間筋）
14	総復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学1（運動器系）／③	担当者名	水江　弘太

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	人体の構造と形態を中心に、機能および臨床との関連において教授する。ここでは、解剖学の総論に加えて特に肉眼で見ることができる巨視解剖学のうち、運動系として骨格・筋系の講義を行う。
成績評価	原則として中間試験、定期試験および追・再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	水江　弘太（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	解剖学　改訂第２版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	人体解剖学	藤田恒太郎	南江堂

回数	授　業　計　画
1	上肢骨・上肢の関節（ｐ36～42）上肢の筋（ｐ92～102）
2	上肢骨・上肢の関節（ｐ36～42）上肢の筋（ｐ92～102）
3	上肢骨・上肢の関節（ｐ36～42）上肢の筋（ｐ92～102）
4	上肢骨・上肢の関節（ｐ36～42）上肢の筋（ｐ92～102）
5	下肢骨・下肢の関節（ｐ46～55）下肢の筋（ｐ107～118）
6	下肢骨・下肢の関節（ｐ46～55）下肢の筋（ｐ107～118）
7	下肢骨・下肢の関節（ｐ46～55）下肢の筋（ｐ107～118）
8	中間試験
9	下肢骨・下肢の関節（ｐ46～55）下肢の筋（ｐ107～118）
10	下肢骨・下肢の関節（ｐ46～55）下肢の筋（ｐ107～118）
11	脊柱（ｐ28）・背部の筋（ｐ88～90）腹部の筋（ｐ85～88）
12	頭蓋（59）・頭部の筋、頸部の筋（ｐ76～81）
13	胸郭（ｐ33）・胸部の筋、呼吸筋（ｐ81～84）
14	脊柱（ｐ28）・背部の筋（ｐ88～90）
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	解剖学2（脈管系・内臓系他）／①	担当者名	井手　貴治

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	柔道整復師になるために必要な解剖学の基本知識として、ここでは概説・脈管系に着目して講義を行う。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する
その他	井手　貴治（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	解剖学　改訂第２版	全国柔道整復学校協会	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	人体解剖学概説（意義と分類・細胞および組織）
2	人体解剖学概説（発生・器官系統）
3	人体解剖学概説（人体の区分）
4	体循環と肺循環
5	血管の形態と構造
6	心臓の位置と形態、心臓の構造、心臓の弁、心臓壁の構造
7	刺激伝導系、心臓の脈管、心臓の神経、心膜
8	中間試験
9	肺循環
10	体循環（大動脈～胸大動脈）
11	体循環（腹大動脈～下肢の動脈）
12	静脈系
13	胎児循環
14	リンパ系
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学2（脈管系・内臓系他）／②	担当者名	有吉　渉

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	柔道整復師になるために必要な解剖学の基本知識として、ここでは内臓系に着目して講義を行う。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する
その他	有吉　渉（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	解剖学　改訂第２版	全国柔道整復学校協会	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	消化器の種類と構造①(口、口腔腺、咽頭、食道)
2	消化器の種類と構造②（胃、小腸、大腸）
3	消化器の種類と構造③（肝臓、胆道、膵臓、腹膜）
4	呼吸器の働き・呼吸器①（外鼻、鼻腔と副鼻腔、咽頭）
5	呼吸器の働き・呼吸器②（喉頭、気管および気管支）
6	呼吸器の働き・呼吸器③（肺、胸膜、縦隔）
7	泌尿器の働き①（腎臓）
8	中間試験
9	泌尿器の働き②（尿管、膀胱、尿道）
10	生殖器の働き、男性生殖器（精巣と精巣上体、精管、精嚢）
11	生殖器の働き、男性生殖器（付属生殖器、陰茎と陰嚢）
12	生殖器の働き、女性生殖器（卵巣、卵管、子宮）
13	生殖器の働き、女性生殖器（膣、外陰部、会陰）
14	生殖器の働き、女性生殖器（卵巣と子宮粘膜の周期的変化、胎盤）
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学3（神経系・感覚）／①	担当者名	有吉　渉

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	人体の構造と形態を中心に機能および臨床との関連において教授する。ここでは、解剖学の内分泌系、感覚器および体表解剖の骨格系の講義を行う。
成績評価	原則として中間試験、定期試験および追・再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	有吉　渉（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	解剖学　改訂第２版	岸清・石塚寛著(社)全国柔整学校	医歯薬出版
参考図書	人体解剖学	藤田恒太郎	南江堂

回数	授　業　計　画
1	内分泌系、内分泌系の働き
2	内分泌器
3	感覚器、Ａ外皮
4	Ｂ　視覚器
5	Ｃ　聴覚器および平衡器
6	平衡覚路と聴覚路および平衡覚中枢と聴覚中枢
7	Ｄ　味覚器、臭覚器
8	中間テストおよび解説
9	体表解剖、Ａ　体表区分
10	Ｂ　骨格系
11	Ｃ　筋　系
12	Ｃ　筋　系
13	Ｅ　神経系，　Ｆ　目，耳，鼻，口
14	Ｇ　外皮，　Ｈ　生体計測
15	期末試験（６０分）、　試験終了後、解答および解説

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学3（神経系・感覚）／②	担当者名	井手　貴治

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	人体の構造と形態を中心に、機能および臨床との関連において教授する。ここでは、解剖学の神経の講義を行う。
成績評価	原則として中間試験、定期試験および追・再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	井手　貴治（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	解剖学　改訂第２版	岸清ほか著	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	神経系の区分と特徴・神経組織（P217-220）
2	灰白質、白質と神経節、根・髄膜と脳脊髄液（P221-223）
3	脳・各部の形態と機能（P223-229）
4	脊髄・区分（P230-233）
5	伝導路（P233-236）
6	末梢神経・脳神経①（P238-241）
7	脳神経②（P241-245）
8	中間試験
9	脊髄神経後枝・頚神経叢・腕神経叢（P245-247）
10	胸神経・腰神経・仙骨神経叢（P248-252）
11	陰部神経・尾骨神経・デルマトーム（P252-255）
12	交感神経系（PP256-257）
13	副交感神経系（P258-259）
14	関連痛（P259）
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	生理学1（循環・内臓）／①	担当者名	粟野　秀慈

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	柔道整復師として必要な生理学の知識を丁寧に指導していく。国家試験の傾向も踏まえ、講義とともに問題演習も行い、知識を定着させる。
成績評価	原則として各単元テスト、中間試験、期末試験の結果を総合的に評価する。
その他	粟野　秀慈（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	生理学（改訂第4版）	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	生理学の基礎（Ａ生理学とは、Ｂ人体を構成する要素、Ｃホメオスタシス）
2	生理学の基礎（Ｄからだの科学的構成）
3	生理学の基礎（Ｅ細胞の機能的構造、Ｆ拡散、浸透、ろ過）
4	生理学の基礎（Ｇ受動輸送と能動輸送、Ｈエンドサイトーシスとエクソサイトーシス）
5	血液の生理学（Ａ血液の役割、Ｂ血液の組成）
6	血液の生理学（Ｃ免疫機能）
7	血液の生理学（Ｄ血液型、Ｅ血液の凝固）
8	中間試験
9	循環の生理学（Ａ心臓の機能）
10	循環の生理学（Ａ心臓の機能、Ｂ血管系、Ｃリンパ管系）
11	循環の生理学（Ｄ循環の調節、Ｅ局所循環、Ｆ脳脊髄液循環）
12	呼吸の生理学（Ａ呼吸器の機能的構造、Ｂ換気）
13	呼吸の生理学（Ｃガス交換、Ｄ血液中の酸素の運搬、Ｅ血液中の二酸化炭素の運搬）
14	呼吸の生理学（Ｆ呼吸を調節する仕組み、Ｇ呼吸の異常、Ｈ特殊環境下の呼吸、Ｉ人工呼吸）
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	生理学1（循環・内臓）／②	担当者名	臼井　通彦

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	柔道整復師として必要な生理学の知識を丁寧に指導していく。国家試験の傾向も踏まえ、講義とともに問題演習も行い、知識を定着させる。
成績評価	原則として各単元テスト、中間試験、期末試験の結果を総合的に評価する。
その他	臼井　通彦（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	生理学　改訂第4版	根来英雄ほか著	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	消化と吸収①（消化器系の働き、運動と調整、消化液の分泌機序）
2	消化と吸収②（消化、吸収）
3	消化と吸収③（消化管ホルモン）
4	消化と吸収④（肝臓と胆道系）
5	栄養と代謝①（代謝）
6	栄養と代謝②（中間代謝、エネルギー代謝）
7	体温とその調節（体温、体温の日内変動、熱の産生、熱放散、体温調節、うつ熱と発熱、気候馴化）
8	中間試験
9	尿の生成と排泄①（腎の構造と機能、糸球体ろ過量）
10	尿の生成と排泄②（尿細管による再吸収）
11	尿の生成と排泄③（尿細管による分泌、尿の成分、排尿）
12	生殖①（性染色体とその異常、性分化、男性生殖器系の構成、精子形成、勃起と射精）
13	生殖②（女性生殖器の構成、月経周期）
14	生殖③（卵巣周期中のゴナドトロピンと卵巣、妊娠と分娩、乳汁分泌）
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学2（運動・神経）／①	担当者名	臼井　通彦

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	柔道整復師として必要な生理学の知識を丁寧に指導していく。国家試験の傾向も踏まえ、講義とともに問題演習も行い、知識を定着させる。
成績評価	原則として各単元テスト、中間試験、期末試験の結果を総合的に評価する。
その他	臼井　通彦（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	生理学　改訂第３版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	内分泌系の機能（Ａ内分泌腺Ｂホルモンの一般的性質Ｃホルモンの種類と作用）
2	内分泌系の機能（Ｄ視床下部のホルモンＥ下垂体のホルモンＦ甲状腺のホルモン）
3	内分泌系の機能（Ｇ副腎皮質のホルモンＨ副腎髄質のホルモンＩ膵臓のホルモン）
4	内分泌系の機能（Ｊ精巣のホルモンＫ卵巣のホルモン）
5	骨の生理学（Ａ骨の構造Ｂ骨の形成と成長Ｃ骨の再吸収と再形成Ｄカルシウム代謝とリン代謝）
6	骨の生理学（ＥビタミンＤＦ上皮小体ホルモンＧカルシトニンＨ骨の病気）
7	体液の生理学（Ａ体液の区分と水バランスＢ体液のイオン組成Ｃ体液の恒常性を維持する仕組み）
8	中間試験
9	筋肉の機能（Ａ筋肉の種類とその特徴Ｂ骨格筋の構造Ｃ筋収縮の仕組み）
10	筋肉の機能（Ｄ筋細胞膜を興奮させるしくみＥ骨格筋の収縮の仕方）
11	筋肉の機能（Ｆ筋肉の長さと張力の関係Ｇ筋収縮のエネルギー）
12	筋肉の機能（Ｈ筋の熱発生Ｉ筋電図）
13	筋肉の機能（Ｊ平滑筋）
14	筋肉の機能（Ｋ心筋）
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	生理学2（運動・神経）／②	担当者名	粟野　秀慈

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	柔道整復師として必要な生理学の知識を丁寧に指導していく。国家試験の傾向も踏まえ、講義とともに問題演習も行い、知識を定着させる。
成績評価	原則として各単元テスト、中間試験、期末試験の結果を総合的に評価する。
その他	粟野　秀慈（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	生理学　改訂第３版	根来英雄ほか著	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	神経の基本的機能（Ａ神経細胞の形態Ｂ静止膜電位Ｃ活動電位Ｄ閾刺激）
2	神経の基本的機能（Ｅ全か無かの法則Ｆ不応期Ｇイオンチャネル）
3	神経の基本的機能（Ｈ興奮伝導Ｉ複合活動電位）
4	神経の基本的機能（Ｊ興奮伝導）
5	神経系の機能（Ａ神経系の成り立ち）
6	神経系の機能（Ａ神経系の成り立ち）
7	神経系の機能（Ａ神経系の成り立ち）
8	中間試験
9	神経系の機能（Ａ神経系の成り立ちＢ内臓機能の調節Ｃ内臓機能の視床下部による調節）
10	神経系の機能（Ｃ内臓機能の視床下部による調節）
11	神経系の機能（Ｄ姿勢と運動の調節Ｅ高次機能）
12	感覚の生理学（Ａ感覚の種類Ｂ感覚の一般的性質）
13	感覚の生理学（Ｃ体性感覚Ｄ内臓感覚Ｅ嗅覚と味覚）
14	感覚の生理学（Ｆ聴覚Ｇ視覚Ｈ前庭感覚）
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	運動学／①	担当者名	田中　満

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	運動学を中心に筋などを講義する。
成績評価	定期試験および受講態度・理解度等を総合的に評価します。
その他	田中　満（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	運動学	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	PTOTから基礎から学ぶ運動学ノート	中島喜代彦	医歯薬出版

回数	授　業　計　画
1	肩関節の構造・問題演習（P90-91）、肩の運動・講義（P93-97）
2	肘の構造・問題演習（P98-100），肘と前腕運動に関わる筋・講義（P97-103）
3	手関節構造・問題演習（P104-109）、手関節運動に関わる筋・講義（P97-120）
4	上肢帯の運動・講義（P86-89）、上肢帯の構造・問題演習（P84-85）
5	下肢帯の構造・解剖講義（P122-124）
6	下肢の解剖学・問題演習（P124-126）、股関節の運動に関わる筋・講義（P132-137）
7	股関節に関わる筋②（133-17）、下肢の解剖学問題演習（P127-131）
8	中間試験
9	膝の構造・問題演習（P138-142)、膝の運動に関わる筋・講義（P143-149）
10	足関節の構造・問題演習（P150-153）、足関節の運動学・講義（P154-164）
11	体幹の運動学・講義（P166-170）
12	頚部の運動・講義（P173-177),頚部の解剖・問題演習（P171-172）
13	胸部と呼吸・問題演習（P184-185)、体幹の運動学・講義（P166-183）
14	腰部の構造と骨盤傾斜・講義咀嚼・講義（P186-200)、腰部・骨盤・仙腸関節構造問題演習頭蓋骨解剖・問題演習（P184-185・192-193）
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	運動学／②	担当者名	水江　弘太

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	人体の構造と形態を中心に、機能および臨床との関連において教授する。ここでは、運動系の講義を行う。
成績評価	原則として定期試験および追・再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	水江　弘太（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	解剖学　改訂第２版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	ＰＴ・ＯＴ基礎から学ぶ運動学ノート	中島雅美中島喜代彦編　第2版	医歯薬出版

回数	授　業　計　画
1	上肢の解剖学、上肢帯・肩関節・肘関節・前腕・手関節（ｐ72～105）
2	①の問題演習
3	下肢の解剖学、股関節・膝関節・足関節（ｐ122～160）
4	①③の問題演習
5	体幹の解剖学、頸部の運動、胸部の運動、骨盤部の運動（ｐ166～188）
6	①③⑤の問題演習
7	①③⑤の問題演習
8	①③⑤の問題演習
9	①③⑤の問題演習
10	①③⑤の問題演習
11	①③⑤の問題演習
12	①③⑤の問題演習
13	①③⑤の問題演習
14	①③⑤の問題演習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	運動生理学／①	担当者名	安細　敏弘

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	人間の運動に関する基本的な知識を習得する。主に力学や運動器の構造機能、姿勢、歩行、上肢や下肢の運動、脊柱の運動、下肢帯と下肢の運動、上肢帯と上肢の運動について学習する。
成績評価	原則として中間試験、定期試験および追・再試験の結果を総合的に評価する。
その他	安細　敏弘（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	運動学　第3版	斉藤宏ほか著	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	運動学の目的
2	運動の表し方
3	身体運動と力学①
4	身体運動と力学②
5	運動器の構造と機能①
6	運動器の構造と機能②
7	復習
8	中間試験
9	神経の構造と機能①
10	神経の構造と機能②
11	運動感覚①
12	運動感覚②
13	反射と随意運動①
14	反射と随意運動②
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	運動生理学／②					担当者名		安細　敏弘			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	人間の運動に関する基本的な知識を習得する。主に力学や運動器の構造機能、姿勢、歩行、上肢や下肢の運動、脊柱の運動、下肢帯と下肢の運動、上肢帯と上肢の運動について学習する。
成績評価	原則として中間試験、定期試験および追・再試験の結果を総合的に評価する。
その他	安細　敏弘（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	運動学　第3版	斉藤宏ほか著	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	姿勢①
2	姿勢②
3	姿勢③
4	歩行①
5	歩行②
6	歩行③
7	運動発達と運動学習
8	中間試験
9	運動学習
10	生理学（高齢者の生理学）①
11	生理学（高齢者の生理学）②
12	生理学（スポーツ競技者の生理学）①
13	生理学（スポーツ競技者の生理学）②
14	復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	病理学概論	担当者名	井手　貴治

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			30			

授業概要	病気の根底にある「細胞、組織、器官の形態的・機能的変化」をテーマとして扱う専門領域である。２年次の病理学講義では、病気の引き金となる異常な刺激に対する細胞や組織の基本的反応について、主に総論的に、あらゆる組織・臓器に共通する一般通則として論ずる。前期の「病理学１」では、病理学の学問的枠組み、疫病一般の概説、退行性病変、進行性病変、循環障害、炎症について解説する。
成績評価	中間試験の成績を20%、期末試験の成績を80%に換算し、その成績が60点以上で合格とする。
その他	井手　貴治（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	病理学概論（改訂第３版）	関根一郎	医歯薬出版
参考図書	標準病理学（第４版）	坂本穆彦ら	医学書院

回数	授　業　計　画
1	疾病の一般～細胞障害（１）（教科書p1～p15）
2	細胞障害（２）（教科書p15～p27）
3	循環傷害（１）（教科書p30～p41）
4	循環傷害（２）（教科書p42～p47）
5	進行性病変（2）（教科書p49～p56）
6	移植（教科書p57～p60）
7	炎症（教科書p61～p68）
8	中間試験
9	免疫異常（教科書p72～p80）
10	免疫異常②/アレルギー（教科書p80～p84）
11	運動感覚①
12	運動感覚②
13	反射と随意運動①
14	反射と随意運動②
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	リハビリテーション医学	担当者名	宇田津　明彦

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	リハビリテーション医学の広い知識を身につけ、技術の向上に努め、医療分野の一翼を担い、社会の要請に応えられる人材の育成を目的とする。そのために、リハビリテーションの概念と歴史、リハビリテーション医学の基礎医学、評価法と診断、治療、実際について学び、最後に福祉との関連を勉強する。
成績評価	中間試験、定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	宇田津　明彦（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	リハビリテーション医学（改訂第3版）	(社)全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	リハビリテーション医学（改訂第3版）		

回数	授　業　計　画
1	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝの概念と歴史・リハビリテーション医学
2	リハビリテーション医学の基礎医学１(運動学と機能解剖)
3	リハビリテーション医学の基礎医学２（障害学・治療学）
4	リハビリテーション医学の評価と診断１（患者のとらえ方・身体計測・関節可動域測定法・中枢性運動障害の評価法・痙縮の評価法）
5	リハビリテーション医学の評価と診断２（小児運動発達の評価法１・協調性テスト・失認と失行の評価法・心理評価・日常生活動作の評価）
6	リハビリテーション医学の評価と診断３（電気生理学的診断法１・画像診断）・リハビリテーションの治療１（理学療法１）
7	リハビリテーションの治療２（理学療法２・作業療法１）
8	リハビリテーションの治療３（作業療法２・補装具１）
9	リハビリテーションの治療３（作業療法２・補装具１）
10	リハビリテーションの治療４（補装具２・言語治療）
11	リハビリテーション医学と関連職種・リハビリテーションの実際１脳卒中・脊髄損傷
12	リハビリテーションの実際２（小児疾患・切断）
13	リハビリテーションの実際３（末梢神経損傷・関節リウマチ）
14	リハビリテーションの実際４（整形外科疾患・心疾患・呼吸器疾患）
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	一般臨床医学1（総論）					担当者名		園木　一男			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	診察の基本と内科疾患を中心とした疾患の概念を理解し、柔道整復師が臨床現場で注意を払う必要があるものの症状および所見の理解を深める。
成績評価	定期試験（中間試験および期末試験）、授業態度、課題への取り組み等を総合的に評価
その他	園木　一男（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	一般臨床医学　改定第３版	奈良信夫ほか	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	診察の意義、診察の進め方
2	医療面接
3	視診
4	打診
5	聴診
6	触診
7	生命徴候
8	中間試験
9	感覚検査
10	反射検査
11	代表的な臨床症状①
12	代表的な臨床症状②
13	代表的な臨床症状③
14	検査法
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	一般臨床医学2（各論）	担当者名	園木　一男

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	解剖学、生理学、病理学等の知識をふまえ、個々の疾患を理解していく。
成績評価	中間・期末試験、授業態度を総合的に評価。
その他	園木　一男（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	一般臨床医学　改定第３版	奈良信夫ほか	医歯薬出版
参考図書	病態生理で切った生理学	村川裕二	医学教育出版

回数	授　業　計　画
1	内分泌疾患１
2	内分泌疾患２
3	内分泌疾患３
4	血液疾患１
5	血液疾患２
6	腎疾患1
7	腎疾患2
8	中間試験
9	神経疾患１
10	神経疾患２
11	感染症１
12	感染症２
13	膠原病１
14	膠原病２
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	外科学概論	担当者名	宇田津　明彦

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	教科書を中心に臨床的内容も豊富に講義する
成績評価	中間・期末考査成績による
その他	宇田津　明彦（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	外科学概論　改訂第4版	全国柔道整復学校協会　監修	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	損傷・熱傷
2	外科感染症
3	腫瘍、ショック
4	輸液、輸血
5	消毒、手術
6	麻酔、移植、免疫
7	出血、止血
8	中間試験
9	心肺蘇生
10	脳
11	呼吸器、頚部
12	心脈管
13	乳腺、消化器
14	エコー　肝
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	整形外科学1	担当者名	宇田津　明彦

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	臨床の現場で遭遇する個々の疾患に対して、これまで柔道整復実技１から同５までに習得した知識および技術を応用して対応する能力を身につける。 ここでは主に、柔道整復師が遭遇しやすい整形外科的疾患とその見分け方について学習する。
成績評価	筆記および実技試験の成績、課題の提出状況および取り組み方を総合的に評価。
その他	宇田津　明彦（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	整形外科学 施術の適応と医用画像の理解	全国柔道整復学校協会監修	医歯薬出版　南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	運動器の基礎知識、診察法、検査法
2	検査法
3	整形外科学治療法
4	骨・関節損傷総論
5	スポーツ整形外科
6	感染症疾患
7	骨腫瘍
8	中間試験
9	骨・関節疾患（非感染症）
10	全身性の骨・関節疾患
11	骨端症
12	四肢循環障害
13	神経・筋疾患
14	まとめ
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	整形外科学2	担当者名	山田　眞人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	″臨床の現場で遭遇する個々の疾患に対して、これまで柔道整復実技１から同５までに習得した知識および技術を応用して対応する能力を身につける。 ここでは主に、柔道整復師が遭遇しやすい整形外科的疾患とその見分け方について学習する。″
成績評価	筆記および実技試験の成績、課題の提出状況および取り組み方を総合的に評価。
その他	山田　眞人（病院整形外科において整形外科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	整形外科学	全国柔道整復学校協会監修	医歯薬出版
参考図書	施術の適応と医用画像の理解	全国柔道整復学校協会監修	南江堂

回数	授　業　計　画
1	身体部位別各論（体幹）
2	身体部位別各論（肩甲帯および上肢）①
3	身体部位別各論（肩甲帯および上肢）②
4	身体部位別各論（肩甲帯および上肢）③
5	身体部位別各論（骨盤および下肢の疾患）①
6	身体部位別各論（骨盤および下肢の疾患）②
7	身体部位別各論（骨盤および下肢の疾患）③
8	中間試験
9	画像診断の理解（X線）
10	画像診断の理解（Ct）
11	画像診断の理解（MRI）
12	画像診断の理解（MR）
13	画像診断の理解（超音波）
14	運動器系の画像
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	関係法規					担当者名		新地　秀臣			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	柔道整復師として業務に従事する上で必要となる柔道整復師法をはじめ、医療福祉法規を理解する。
成績評価	期末試験、授業態度、課題への取り組み等を総合的に評価。
その他	新地　秀臣（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	関係法規（改訂第2版）	前田和彦	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	序論、柔道整復師法の目的
2	序論、柔道整復師法の目的②
3	業、免許、資格要件、名簿
4	業、免許、資格要件、名簿②
5	各種申請手続き法
6	各種申請手続き法②
7	国家試験、業務
8	中間試験
9	同意、守秘義務
10	同意、守秘義務②
11	施術所の届出
12	施術所の届出②
13	施術所監督、広告の制限
14	罰則、指定登録機関および指定試験機関試験
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	職業倫理と法律					担当者名		新地　秀臣			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	医療従事者になる為の職業倫理や臨床現場に出てからの社会的対応をグループワークを通して習得する。また、必要な法律や責任の重さを学習する。
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	新地　秀臣（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理	川渕孝一・長尾敦彦・前田和彦	医歯薬出版
参考図書	関係法規　改訂第２版	前田和彦	医歯薬出版

回数	授　業　計　画
1	A. 医療従事者の職業倫理
2	B. 柔道整復師に必要な基本的倫理観と患者への対応
3	C. 柔道整復師の社会的責任と対応　「患者への対応Ⅰ」
4	C. 柔道整復師の社会的責任と対応　「患者への対応Ⅱ」
5	C. 柔道整復師の社会的責任と対応　「患者への対応Ⅲ」
6	C. 柔道整復師の社会的責任と対応　「患者への対応Ⅳ」
7	C. 柔道整復師の社会的責任と対応　「患者への対応Ⅴ・まとめ」
8	中間試験
9	D. グループディスカッション事例①「施術におけるトリアージ」
10	D. グループディスカッション事例②「個人情報、認知症の対応」
11	D. グループディスカッション事例③「柔道整復師と整体師」
12	E. 医療における情報と責任
13	社会保険関係法規①「健康保険法」「国民健康保険法」
14	社会保険関係法規②「個人情報保護に関する法律」
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	衛生・公衆衛生学					担当者名		井手　貴治			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	地域の医療・保健を担う柔道整復師として必要な健康の概念、感染対策、環境対策および食品衛生にかかる知識について概説するほか、衛星行政機構や医療保険の制度について学ぶ。
成績評価	試験により評価する。
その他	井手　貴治（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	衛生学・公衆衛生学　改訂第５版	鈴木庄亮ほか著	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	衛生学とは、ＷＨＯ憲章
2	疾患、習慣病、予防の分類
3	疾病予防、健康管理
4	感染症
5	消毒
6	環境衛生
7	食中毒、公害
8	中間試験
9	母子保健、学校保健
10	産業保健、成人保健
11	老人保健、高齢者保健
12	精神保健、地域保健
13	国際保健、衛星行政と保険医療制度
14	医療の倫理、安全の確保、疫学
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	医学史	担当者名	竹原　直道

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						15					

授業概要	医学の歴史の流れを概観することによって柔道整復師が医療の一翼を担う医療職であることの自覚を促し、それによって医の倫理感と衛生理念をもった柔道整復師像を確立させることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度、理解度等を総合的に評価します。
その他	竹原　直道（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	教科書は特に指定せず、プリント中心に行う。		
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	医学史を学ぶ意味　　古代医学　　ヒポクラテスの誓い　　ギリシャ医学　　ローマ医学
2	解剖学の歴史　　わが国の解剖学の発展　　インド・中国の医学
3	外科の夜明け　　麻酔の歴史
4	消毒の歴史　　感染症　　性病
5	近代細菌学の発展　　公衆衛生の歴史　　近世日本医学の発展
6	近代日本医療制度の成立　　近代日本医学を築いた人々
7	接骨医学史　　医の倫理の歴史
8	試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	保健体育実技1	担当者名	水江　弘太

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	受身、礼法の習得。投の形（手技、腰技、足技）、投技の間合いを理解させるとともにこれを体得させる。それによって約束乱取りも習得させる。
成績評価	出席状況、受講中の態度等を総合的に評価する。
その他	水江　弘太（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	受身、礼法、浮落、背負投
2	受身、浮腰、払腰
3	受身、肩車
4	受身、釣込腰、手技
5	受身、約束乱取
6	受身、送足払
7	受身、約束乱取
8	受身、約束乱取
9	受身、約束乱取
10	受身、約束乱取
11	受身、約束乱取
12	受身、約束乱取
13	受身、約束乱取
14	受身、約束乱取
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	保健体育実技2	担当者名	水江　弘太

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	柔道教育は競技を目的とするものではなく柔道整復師の技術のバックボーンである手技や人格の形成、心身の鍛錬を目的とし、人としての振舞いの基本、礼儀作法の習得を最終目標とする。
成績評価	・評価１／服装・態度　・評価２／礼法　・評価３／受身　・評価／投の形　・評価５／約束乱取
その他	水江　弘太（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	なし		
参考図書	イラスト柔道の形	品川区柔道会	五月書房

回数	授　業　計　画
1	①礼法　②受身　③投の形、手技、浮落、背負い投げ、肩車　④乱取等
2	①②③④復習　⑤足技、送り足払い
3	①②③④⑤　復習
4	①②③④⑤　復習　⑥足技、支え　込足
5	①②③④⑤⑥復習　⑦足技　内股
6	①②③④⑤⑥⑦　復習
7	①②③④⑤⑥⑦　復習
8	①②③④⑤⑥⑦　復習
9	①②③④⑤⑥⑦　復習
10	①②③④⑤⑥⑦　復習
11	①②③④⑤⑥⑦　復習
12	①②③④⑤⑥⑦　復習
13	①②③④⑤⑥⑦　復習
14	試験に備え練習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	医療福祉制度					担当者名		田中　満			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						15					

授業概要	医療福祉に関する制度を学びその利点と問題点を明らかにし、今後の医療福祉制度の在り方を考える
成績評価	定期試験および受講態度、理解度等を総合的に評価します。
その他	田中　満（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	社会保障制度と柔道整復師の職業倫理	（公社）全国柔道整復学校協会	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	Ａ社会保障とは　Ｂ社会保険制度
2	Ｃ医療保険制度　①医療保険の目的と意義
3	Ｃ医療保険制度　②保険診療の概要　③医療保険財政の現状と課題
4	Ｃ医療保険制度　④診療報酬制度
5	Ｄ療養費制度の概要　①療養費とは
6	Ｄ療養費制度の概要　②柔道整復療養費　③柔道整復療養費
7	Ｄ療養費制度の概要　④　療養費の算定　Ｂ療養費請求のケーススタディ
8	試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	骨折総論	担当者名	水江　弘太

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	柔道整復師として必要な柔道整復理論の知識、ここでは骨折の総論について講義する。
成績評価	定期試験および再試験など総合的に評価する。
その他	水江　弘太（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学・理論編（改訂第6版）	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	骨の損傷1（骨の形態と機能、骨損傷の概説、分類）
2	骨の損傷2（骨折の症状①）
3	骨の損傷3（骨折の症状②）
4	骨の損傷4（骨折の合併症①）
5	骨の損傷5（骨折の合併症②）
6	骨の損傷6（小児骨折の特徴）
7	骨の損傷7（高齢者骨折の特徴）
8	骨の損傷8（骨折の癒合日数）中間試験
9	骨の損傷9（骨折の治癒経過）
10	骨の損傷10（骨折の予後）
11	骨の損傷11（骨折の治癒に影響を与える因子）
12	骨の損傷12（骨折の整復法
13	骨の損傷13（骨折の固定法）
14	総復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	脱臼総論	担当者名	桑野　幸仁

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	柔道整復師として必要な柔道整復理論、ここでは脱臼総論について講義する。
成績評価	期末試験、再試験などを総合的に評価する。
その他	桑野　幸仁（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	関節の構造と形態①
2	関節の構造と形態②
3	関節損傷の概説
4	脱臼の定義と概説・発生頻度
5	脱臼の分類（関節の性状による分類）
6	脱臼の分類（程度による分類、関節面相互の位置による分類）
7	脱臼の分類（脱臼数による分類、脱臼部と交通の有無による分類）
8	脱臼の分類（外力の働きによる分類・時期による分類・脱臼の経過による分類）
9	脱臼の分類（頻度と機序による分類）
10	脱臼の症状
11	脱臼の合併症
12	脱臼の整復障害、脱臼の予後
13	脱臼の整復法
14	総復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	軟部組織損傷総論					担当者名		江良　竜弘、新地　秀臣			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	解剖学など基礎医学を基に、各部位の軟部組織損傷について、 その発生機序、症状、検査法など、臨床に必要な知識を習得する。
成績評価	定期試験および受講態度・理解度等を総合的に評価する。
その他	江良竜弘（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、新地秀臣（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	関節の損傷（捻挫、脱臼）Ａ関節の構造と形態
2	関節の損傷（捻挫、脱臼）Ａ関節の構造と形態、Ｂ関節損傷の概要
3	関節の損傷（捻挫、脱臼）Ｂ関節損傷の概要、Ｃ関節損傷の分類、Ｄ損傷される組織、Ｅ鑑別診断を要する類症
4	関節の損傷（捻挫、脱臼）Ｆ関節構成組織損傷１・２
5	関節の損傷（捻挫、脱臼）Ｆ関節構成組織損傷３・４
6	筋の損傷ＡＢＣ
7	筋の損傷ＤＥＦ
8	腱の損傷ＡＢ
9	腱の損傷ＣＤＥ
10	末梢神経の損傷ＡＢ
11	末梢神経の損傷Ｃ
12	末梢神経の損傷ＤＥ
13	血管系、リンパ系、皮膚の損傷（まとめ）
14	総復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	軟部組織損傷各論／①	担当者名	西原　清

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	柔道整復師が臨床現場で遭遇する軟部組織損傷についてその特徴を知り、病態、症状および徒手検査法を学び、鑑別できる能力を身につける。
成績評価	確認試験、定期試験、出席、授業態度などを総合的に評価する。
その他	西原　清（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第5版、改訂6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	肩関節部の軟部組織損傷①
2	肩関節部の軟部組織損傷②
3	上腕部の軟部組織損傷①
4	上腕部の軟部組織損傷②
5	肘関節部の軟部組織損傷①
6	肘関節部の軟部組織損傷②
7	復習
8	中間試験
9	前腕部の軟部組織損傷①
10	前腕部の軟部組織損傷②
11	手関節部の軟部組織損傷①
12	手関節部の軟部組織損傷②
13	手指部の軟部組織損傷
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	軟部組織損傷各論／②	担当者名	浪尾　敬一

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	柔道整復師が臨床現場で遭遇する軟部組織損傷についてその特徴を知り、病態、症状および徒手検査法を学び、鑑別できる能力を身につける。
成績評価	確認試験、定期試験、出席、授業態度などを総合的に評価する。
その他	浪尾　敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第5版、改訂6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	股関節部の軟部組織損傷①
2	股関節部の軟部組織損傷②
3	大腿部の軟部組織損傷①
4	大腿部の軟部組織損傷②
5	膝関節部の軟部組織損傷①
6	膝関節部の軟部組織損傷②
7	復習
8	中間試験
9	下腿部の軟部組織損傷①
10	下腿部の軟部組織損傷②
11	足部・趾部の軟部組織損傷①
12	足部・趾部の軟部組織損傷②
13	頭部・体幹の軟部組織損傷①
14	頭部・体幹の軟部組織損傷②
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	固定法総論／①					担当者名	山根　弘樹					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	巻く相手及び部位に合わせ適切な包帯法を選択し対処できるように反復練習をおこなう。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	山根　弘樹（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	包帯固定学	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	基本包帯復習　冠名包帯復習①
2	基本包帯復習　冠名包帯復習②
3	基本包帯復習　冠名包帯復習③
4	基本包帯復習　冠名包帯復習④
5	基本包帯復習　冠名包帯復習⑤
6	基本包帯復習　冠名包帯復習⑥
7	基本包帯復習　冠名包帯復習⑦
8	テーピング　足関節バスケットウィーブ
9	テーピング　足関節バスケットウィーブ
10	テーピング　足関節　フィギュアエイト・ヒールロック
11	テーピング　足関節　フィギュアエイト・ヒールロック
12	テーピング　足関節　膝関節Xサポートテープ
13	テーピング　足関節　膝関節Xサポートテープ
14	総復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	固定法総論／②	担当者名	浪尾　敬一（水江　弘太）

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	巻く相手および部位に合わせて適切な包帯と包帯法を選択し、対処できるように反復練習を行う。
成績評価	定期試験および受講態度・理解度等を総合的に評価します。
その他	浪尾敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、水江弘太（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	包帯固定学	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	クラーメル副子の作成　下腿骨幹部
2	クラーメル副子を用いた固定　下腿骨幹部
3	プライトンの作成　足関節
4	プライトンを用いた固定　足関節
5	吸水硬化性キャスト材の作成　（前腕～手関節）
6	吸水硬化性キャスト材を用いた固定　（前腕～手関節）②
7	厚紙副子を用いた固定（肋骨+肩関節脱臼）
8	厚紙副子を用いた固定②　（肋骨+肩関節脱臼）
9	アルミ副子の作成　（指）
10	アルミ副子を用いた固定　（指）
11	固定中の留意点（神経障害・循環障害・ショック・阻血症状）
12	固定中の留意点（神経障害・循環障害・ショック・阻血症状）
13	基本包帯法の復習①
14	基本包帯法の復習②
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	治療法総論					担当者名	山根　弘樹					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防
成績評価	中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。
その他	山根　弘樹（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	診察法
2	治療計画　施術録について
3	骨折の整復法
4	脱臼の整復法
5	軟部組織損傷の治療法
6	固定法①
7	固定法②
8	中間試験
9	後療法①　手技療法
10	後療法②　運動療法
11	後療法③　物理療法
12	指導管理
13	外傷の予防①
14	外傷の予防②
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎柔道整復学1	担当者名	田中　満、山根　弘樹

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	臨床現場で必要となる知識および技術を向上させる。ここでは体表解剖を中心に触診を主とした知識および技能の習得を図る。
成績評価	授業態度、知識および技能の習熟状況を総合的に評価。
その他	田中　満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、山根弘樹（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	人体の観察法
2	人体の観察法
3	基本診察法
4	診察概論
5	医療面接、医療面接演習
6	医療面接、医療面接演習
7	診察の順序、診察の演習
8	診察の順序、診察の演習
9	筆記と実技による中間試験
10	視診
11	問診、触診
12	打診、聴診
13	診察演習
14	診察演習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎柔道整復学2	担当者名	田中　満

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		1			授業時間数				30		

授業概要	臨床現場で必要となる知識および技術を向上させる。ここでは体表解剖を中心に触診を主とした知識および技能の習得を図る。
成績評価	授業態度、知識および技能の習熟状況を総合的に評価。
その他	田中　満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	人体の観察法
2	人体の観察法
3	基本診察法
4	診察概論
5	医療面接、医療面接演習
6	医療面接、医療面接演習
7	診察の順序、診察の演習
8	診察の順序、診察の演習
9	筆記と実技による中間試験
10	視診
11	問診、触診
12	打診、聴診
13	診察演習
14	診察演習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	頭部・体幹・上肢帯の骨折	担当者名	浪尾　敬一

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	骨折の特徴を知り、病態、症状、整復法、固定法を学ぶ。総論で学習したことを基礎として対処できる考え方を教授する。
成績評価	確認試験、定期試験、出席、授業態度などを総合的に評価する。
その他	浪尾　敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第5版、改訂6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	頭部・顔面部の解剖と機能
2	頭部・顔面の骨折
3	頚部・胸背部・腰部の解剖と機能
4	頸椎・胸椎・腰椎の骨折
5	胸骨骨折
6	肋骨骨折①
7	肋骨骨折②
8	中間試験
9	鎖骨・肩甲骨の解剖と機能
10	鎖骨骨折①
11	鎖骨骨折②
12	肩甲骨骨折①
13	肩甲骨骨折②
14	復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	上腕の骨折	担当者名	社　由洋

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	骨折の特徴を知り、病態、症状、整復法、固定法を学ぶ。総論で学習したことを基礎として対処できる考え方を教授する。
成績評価	確認試験、定期試験、出席、授業態度などを総合的に評価する。
その他	社　由洋（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第5版、改訂6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	上腕部の解剖と機能
2	上腕骨近位部の骨折①
3	上腕骨近位部の骨折②
4	上腕骨近位部の骨折③
5	上腕骨幹部骨折①
6	上腕骨幹部骨折②
7	復習
8	中間試験
9	肘関節部の解剖と機能
10	上腕骨遠位部の骨折①
11	上腕骨遠位部の骨折②
12	上腕骨遠位部の骨折③
13	上腕骨遠位部の骨折④
14	復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	前腕・手部の骨折	担当者名	桑野　幸仁

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	骨折の特徴を知り、病態、症状、整復法、固定法を学ぶ。総論で学習したことを基礎として対処できる考え方を教授する。
成績評価	確認試験、定期試験、出席、授業態度などを総合的に評価する。
その他	桑野　幸仁（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第5版、改訂6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	前腕部の解剖と機能
2	前腕骨近位部の骨折①
3	前腕骨近位部の骨折②
4	前腕部骨幹部骨折①
5	前腕部骨幹部骨折②
6	前腕遠位端部骨折①
7	前腕遠位端部骨折②
8	中間試験
9	手根骨骨折①
10	手根骨骨折②
11	中手骨骨折①
12	中手骨骨折
13	指骨骨折①
14	指骨骨折②
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	下肢の骨折／①					担当者名		黒木　文葉			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	骨折の特徴を知り、病態、症状、整復法、固定法を学ぶ。総論で学習したことを基礎として対処できる考え方を教授する。
成績評価	確認試験、定期試験、出席、授業態度などを総合的に評価する。
その他	黒木　文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	下肢の解剖と機能①
2	下肢の解剖と機能②
3	骨盤骨骨折①
4	骨盤骨骨折②
5	大腿骨近位端部骨折①
6	大腿骨近位端部骨折②
7	復習
8	中間試験
9	大腿骨近位端部骨折③
10	大腿骨骨幹部骨折
11	大腿骨遠位端部骨折①
12	大腿骨遠位端部骨折②
13	膝蓋骨骨折
14	復習
15	期末試験
16	

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	下肢の骨折／②	担当者名	桑野幸仁、社　由洋

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	骨折の特徴を知り、病態、症状、整復法、固定法を学ぶ。総論で学習したことを基礎として対処できる考え方を教授する。
成績評価	確認試験、定期試験、出席、授業態度などを総合的に評価する。
その他	桑野幸仁（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、社　由洋（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	下肢の解剖と機能
2	下腿骨近位端部骨折①
3	下腿骨近位端部骨折②
4	下腿骨骨幹部骨折①
5	下腿骨骨幹部骨折②
6	下腿遠位端部骨折①
7	下腿遠位端部骨折②
8	中間試験
9	下腿遠位端部骨折③
10	足根骨骨折①
11	足根骨骨折②
12	中足骨骨折①
13	中足骨骨折②足趾骨折
14	復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	上肢の脱臼	担当者名	西原　清

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	「柔道整復学 - 理論編」に基づいて、脱臼学総論および各論を講義する。
成績評価	確認試験、定期試験、出席、授業態度などを総合的に評価する。
その他	西原　清（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学−理論編　改訂第5版、改訂6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	脱臼学総論
2	鎖骨部の脱臼①
3	鎖骨部の脱臼②
4	肩関節脱臼①
5	肩関節脱臼②
6	肩関節脱臼③
7	復習
8	中間試験
9	肘関節脱臼①
10	肘関節脱臼②
11	手関節部の脱臼①
12	手関節部の脱臼②
13	手指部の脱臼①
14	手指部の脱臼②
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	下肢の脱臼	担当者名	西原　清

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	骨折の特徴を知り、病態、症状、整復法、固定法を学ぶ。総論で学習したことを基礎として対処できる考え方を教授する。
成績評価	確認試験、定期試験、出席、授業態度などを総合的に評価する。
その他	西原　清（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	下肢の解剖と機能　股関節の脱臼①
2	股関節の脱臼①
3	膝蓋骨脱臼①
4	膝関節脱臼（それに伴う複合靭帯）
5	足部の脱臼
6	足根部の脱臼・足趾部の脱臼
7	復習
8	中間試験
9	顎関節脱臼
10	顎関節脱臼整復固定法
11	頸椎の脱臼
12	胸椎の脱臼・腰椎の脱臼
13	復習1
14	復習2
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床演習1	担当者名	山根　弘樹

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		1			授業時間数			30			

授業概要	柔道整復師の臨床現場で遭遇する機会の多い疾患を中心に、その診察法および処置法について 実技を通して知識および技能を習得する。
成績評価	期末試験、授業態度、知識および技能の習熟状況を総合的に評価。
その他	山根　弘樹（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	柔道整復師の業務
2	骨折の施術①
3	骨折の施術②
4	骨折の施術③
5	脱臼の施術①
6	脱臼の施術②
7	脱臼の施術③
8	軟部組織損傷の施術（打撲）①
9	軟部組織損傷の施術（打撲）②
10	軟部組織損傷の施術（挫傷）①
11	軟部組織損傷の施術（挫傷）②
12	軟部組織損傷の施術（捻挫）①
13	軟部組織損傷の施術（捻挫）②
14	総復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床演習2	担当者名	浪尾　敬一

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	柔道整復師の臨床現場で必要となる、診察法及び検査法について知識および技能を習得する。主にROM・MMTの計測、各種徒手検査の評価・実施について学習する。
成績評価	原則として小テスト、定期試験および追・再試験の結果を総合的に評価する。
その他	浪尾　敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	各種徒手検査法①（復習）
2	各種徒手検査法②
3	ROM測定①　（　ROM計測方法と基礎知識　基本軸・移動軸・参考可動域角度　等）
4	ROM測定②　（　肘関節　屈曲・伸展　）
5	ROM測定③　（　膝関節　屈曲・伸展）
6	ROM測定④　（　肩関節　屈曲・伸展　）
7	ROM測定⑤　（　肩関節　屈曲・伸展　）
8	ROM測定⑥　（　肩関節　外転・内転　）
9	ROM測定⑦　（　手関節　背屈・掌屈　）
10	ROM測定⑧　（　足関節　屈曲・伸展　）
11	復習
12	MMT測定①（　筋力測定法・筋力増強訓練法・MMT測定の実施）
13	MMT測定②（　MMT測定の実施　）
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	臨床演習3					担当者名		宮越　亮典、勝田　淨邦			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	柔道整復師の臨床現場で必要となる、診察法および後療法について知識および技能を習得する。主にレントゲン画像の見方や上肢や下肢のストレッチ法を学習する。
成績評価	原則として小テスト、定期試験および追・再試験の結果を総合的に評価する。
その他	宮越亮典（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、勝田淨邦（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	施術録の記載
2	施術録の記載②
3	レントゲン画像読影
4	レントゲン画像読影②
5	レントゲン画像読影③
6	後療法の種類と特徴①　（物理療法）
7	後療法の種類と特徴②　（物理療法）
8	後療法の種類と特徴③　（ストレッチ　）
9	後療法の種類と特徴④　（　ストレッチ　）
10	後療法の種類と特徴⑤（　トレーニング　）
11	後療法の種類と特徴⑥（　トレーニング　）
12	実技練習
13	実技練習②
14	実技練習③
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合柔道整復学／①					担当者名	田中　満					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	″柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防″
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	田中　満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	人体の観察法
2	医療面接、医療面接演習
3	診察の順序、診察の演習
4	頭部および顔面部の診察
5	頚背部の触診　頸部の診察
6	背部の診察
7	肩部・腰部の触診
8	中間試験
9	肩部の診察
10	上腕部・肘部の触診
11	前腕部・手部の触診　前腕部の診察
12	手部の診察
13	手指部・胸部の触診
14	前腕部・手部の触診　前腕部の診察
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合柔道整復学／②	担当者名	浪尾　敬一

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	″柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防″
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	浪尾　敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	股部の診察
2	殿部の診察
3	大腿部の診察
4	膝部の診察①
5	膝部の診察②
6	下腿部の診察
7	足部の診察　足指部の診察
8	中間試験
9	診察シミュレーション①
10	診察シミュレーション②
11	診察シミュレーション③
12	鑑別診断の手法①
13	鑑別診断の手法②
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	総合柔道整復学／③	担当者名	山田　眞人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	″柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防″
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	山田　眞人（病院整形外科において整形外科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	徒手検査法の種類①
2	徒手検査法の種類②
3	徒手検査法①
4	徒手検査法②
5	徒手検査法③
6	徒手検査法④
7	徒手検査　演習
8	中間試験
9	頸部の検査法演習
10	肩部の検査法演習
11	肘部の検査法演習
12	手部の検査法演習
13	総合演習①
14	総合演習②
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合柔道整復学／④	担当者名	宇田津　明彦

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	″柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防″
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	宇田津　明彦（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	徒手検査法の種類①
2	徒手検査法の種類②
3	徒手検査法①
4	徒手検査法②
5	徒手検査法③
6	徒手検査法④
7	徒手検査　演習
8	中間試験
9	腰部の検査法演習
10	股部の検査法演習
11	膝部の検査法演習
12	下腿部の検査法演習
13	足部の検査法演習
14	総合演習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合柔道整復学／⑤	担当者名	黒木　文葉

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	″柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防″
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	黒木　文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	鎖骨骨折の考え方と整復法
2	肩鎖関節脱臼の考え方と整復法
3	上腕骨外科頸骨折の考え方と整復法
4	橈骨遠位端部骨折の考え方と整復法　小児の橈骨遠位骨端線離開の考え方と整復法
5	手指骨骨折の考え方と整復法
6	母指MP関節脱臼の考え方と整復法　手指PIP関節脱臼の考え方と整復法
7	肩関節脱臼の考え方と整復法
8	中間試験
9	肘関節脱臼の考え方と整復法
10	股関節脱臼の考え方と整復法
11	膝蓋骨脱臼の考え方と整復法
12	膝蓋骨骨折の考え方と整復法　下腿骨骨幹部骨折の考え方と整復法
13	足指骨骨折の考え方と整復法　足関節果部骨折の考え方と整復法
14	復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合柔道整復学／⑥	担当者名	黒木文葉、浪尾敬一、 田中　満、山根弘樹

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	″柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防″
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	黒木文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、浪尾敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、田中　満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、山根弘樹（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	医療面接の方法論
2	医療面接演習
3	診察の進め方
4	診察の進め方演習
5	鑑別診断の方法
6	鑑別診断演習１
7	鑑別診断演習２
8	中間試験
9	徒手整復の種類と方法論
10	徒手整復演習①
11	徒手整復演習②
12	頸部背部腰部軟部組織損傷に対する診察法と処置法
13	上肢の軟部組織損傷に対する診察法と処置法
14	下肢の軟部組織損傷に対する診察法と処置法
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合柔道整復学／⑦	担当者名	新地秀臣、山田眞人、 社　由洋、水江　弘太

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	教科書を中心に臨床的内容も豊富に講義する。
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	新地秀臣（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、山田眞人（病院整形外科において整形外科医師として勤務）、社　由洋（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、水江弘太（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	診察法
2	治療計画　施術録について
3	骨折の整復法
4	脱臼の整復法
5	軟部組織損傷の治療法
6	固定法①
7	固定法②
8	中間試験
9	後療法①　手技療法
10	後療法②　運動療法
11	後療法③　物理療法
12	指導管理
13	外傷の予防①
14	外傷の予防②
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合柔道整復学／⑧	担当者名	黒木文葉、田中　満、 社　由洋

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		1			授業時間数						30

授業概要	教科書を中心に臨床的内容も豊富に講義する。
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	黒木文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、田中　満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、社　由洋（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	整形外科学	（社）全国柔道整復学校協会	医歯薬出版
参考図書	標準整形外科学	監修　国分正一　ほか	医学書院

回数	授　業　計　画
1	運動器の基礎知識
2	整形外科診察法
3	整形外科検査法
4	整形外科的治療法
5	骨関節損傷総論
6	疾患別各論①
7	疾患別各論②
8	中間試験
9	疾患別各論　神経筋疾患
10	身体部位各論①
11	身体部位各論②
12	身体部位各論③
13	身体部位各論④
14	身体部位各論⑤
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	総合柔道整復学／⑨	担当者名	黒木　文葉

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	″″″″″″″人間の運動に関する基本的な知識を習得する。主に力学や運動器の構造機能、姿勢、歩行、上肢や下肢の運動、脊柱の運動、下肢帯と下肢の運動、上肢帯と上肢の運動について学習する。″″″″″″″
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	黒木　文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	運動学　第3版	斉藤宏ほか著	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	運動学の定義
2	上肢帯 ・ 上肢の構造　総論　上肢帯　肩関節
3	肘関節の運動　筋　手関節の運動
4	股関節の運動　膝関節の運動
5	体幹の運動
6	呼吸筋
7	神経
8	中間試験
9	反射と随意運動
10	小脳・機能
11	姿勢　歩行　運動発達　運動学習①
12	姿勢　歩行　運動発達　運動学習②
13	総演習
14	総演習②
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	柔整実技1（基礎固定）／①					担当者名		山根　弘樹、江良　竜弘			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	様々な固定法、被覆法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	山根弘樹（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、江良竜弘（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	包帯固定学	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション　巻軸包帯の巻き方と注意事項　巻軸包帯のまき直し
2	前回の復習（15分）　前腕部の折転帯・下腿部の折転帯
3	前回の復習（15分）　前腕部の折転帯・下腿部の折転帯
4	前回の復習（15分）　肘関節の亀甲帯・膝の亀甲帯
5	前回の復習（15分）　肘関節の亀甲帯・膝の亀甲帯
6	前回の復習（15分）　肩関節の麦穂帯・股関節の麦穂帯
7	前回の復習（15分）　肩関節の麦穂帯・股関節の麦穂帯
8	確認テスト
9	前回の復習（15分）　胸背部十字帯
10	前回の復習（15分）　指・手関節の麦穂帯　　指頭包か帯
11	前回の復習（15分）　足関節の亀甲帯・麦穂帯
12	全体復習　入室確認
13	プレ試験
14	総復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	柔整実技1（基礎固定）／②					担当者名		浪尾　敬一、水江　弘太			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	様々な固定法、被覆法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	浪尾敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、水江弘太（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	包帯固定学	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	デゾー包帯法
2	デゾー包帯法
3	テープ固定　①バスケットウィーブ
4	デゾー包帯法　　復習
5	テープ固定　②フィギュアエイト・ヒールロック
6	前回の復習15分　ジュール包帯法
7	テープ固定　①②確認
8	前回の復習15分　ヴェルポー包帯法
9	テープ固定　③内側側副靱帯固定
10	ジュール包帯法・ヴェルポー包帯法復習
11	テープ固定　①②③確認
12	デゾー包帯法　復習
13	総復習
14	総復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	柔整実技2（総合①）					担当者名		山根　弘樹（新地　秀臣）			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	臨床現場で必要となる知識や技術の向上を図る。ここでは骨や筋の構造を十分に理解しこれを体表から触察する能力を身に付ける。
成績評価	定期試験および受講態度・理解度等を総合的に評価します。
その他	山根弘樹（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、新地秀臣（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書	骨格筋の形と触察法	河上敬介、磯貝香	大峰閣

回数	授　業　計　画
1	触診の仕方
2	骨の触察1（鎖骨、胸鎖関節、胸骨頚切痕、胸骨柄、胸骨角、剣状突起、烏口突起）
3	骨の触察1　復習
4	骨の触察2（肩甲骨下角、内側縁、上角、外側縁、肩甲棘、肩峰）
5	骨の触察2　復習
6	骨の触察3（上腕骨大結節、小結節、結節間溝、内側上顆、外側上顆）
7	骨の触察3（尺骨、橈骨、肘頭、茎状突起、橈骨後結節）
8	骨の触察4（手根骨、手指、豆状骨、第1中手骨手根骨、第2・3・5中手骨底）
9	骨の触察5（骨盤、上前腸骨棘、下前腸骨棘、腸骨稜、坐骨結節）
10	骨の触察6（大腿骨、膝蓋骨、大転子、外側上顆、内側上顆、内転筋結節）
11	骨の触察7（脛骨、腓骨、脛骨粗面、膝蓋靭帯、脛骨前縁、脛骨後内側縁、脛骨外側縁、腓骨頭、内果、外果）
12	骨の触察8（足部、第5中足骨底）
13	総復習
14	総復習（試験形式）
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技3（総合②）／①	担当者名	山根　弘樹

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	柔道整復師の臨床現場で遭遇する機会の多い疾患を中心に、その診察法および処置法について 実技を通して知識および技能を習得する。
成績評価	期末試験、授業態度、知識および技能の習熟状況を総合的に評価。
その他	山根　弘樹（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション、患者さんとの向き合い方、体表解剖、触診（上肢、下肢）、バイタルサイン
2	腱板損傷　検査法、上腕二頭筋腱損傷　検査法
3	ハムストリングス・大腿四頭筋・下腿三頭筋肉離れ損傷　検査法
4	膝関節損傷　側副靱帯／半月板／十字靱帯損傷　検査法
5	足関節外側側副靱帯損傷　検査法、本番形式練習
6	鎖骨骨折　定型的整復法
7	肩鎖関節脱臼整復法
8	肩関節脱臼整復法
9	上腕骨外科頸部骨折整復法
10	肘関節後方脱臼整復法
11	コ―レス骨折整復法、肘内障整復法
12	本番形式練習
13	プレ試験
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	柔整実技3（総合②）／②					担当者名		山根　弘樹			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	柔道整復師の臨床現場で遭遇する機会の多い疾患を中心に、その診察法および処置法について 実技を通して知識および技能を習得する。
成績評価	期末試験、授業態度、知識および技能の習熟状況を総合的に評価。
その他	山根　弘樹（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-実技編	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	鎖骨骨折　固定法
2	肋骨骨折　固定法
3	肩関節脱臼　固定法
4	上腕骨骨幹部骨折　固定
5	肘関節脱臼　固定　肩鎖関節脱臼　絆創膏固定
6	コ―レス骨折　固定
7	第２指PIP関節背側脱臼・第５指中手骨頚部骨折固定（アルミ副子背側固定・アルミ副子掌側固定）
8	確認試験
9	下腿骨骨幹部骨折クラーメル副子固定・アキレス腱断裂クラーメル固定
10	足関節外側側副靭帯損傷　局所副子固定・テーピング固定（バスケットウィーブ・フギュアエイト）
11	膝内側側副靭帯損傷テーピング固定（Xサポート）
12	復習
13	プレ試験
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	柔整実技4（骨折）					担当者名		黒木　文葉			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	黒木　文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション、骨折総論・触診
2	鎖骨骨折整復
3	鎖骨骨折固定
4	上腕骨外科頚骨折整復
5	上腕骨外科頚骨折固定
6	コ―レス骨折整復①
7	コ―レス骨折整復②
8	コ―レス骨折固定
9	肋骨骨折固定
10	第5中手骨骨折固定
11	下腿骨骨幹部骨折固定
12	復習
13	プレ試験
14	復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技5（脱臼）					担当者名		橋爪　務、水江　弘太			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	橋爪　務（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、水江弘太（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション・脱臼総論・触診
2	肩鎖関節脱臼整復
3	肩鎖関節脱臼固定
4	肩関節脱臼整復①
5	肩関節脱臼整復②
6	肩関節脱臼固定
7	肘関節脱臼整復
8	肘関節脱臼固定
9	肘内障整復
10	第２指PIP関節脱臼固定
11	復習
12	復習
13	プレ試験
14	復習
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	柔整実技6（軟損）					担当者名		田中　満			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	様々な検査法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	田中　満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション・軟部組織損傷総論・触診
2	肩腱板損傷検査法
3	上腕二頭筋長頭腱損傷検査法
4	ハムストリングス損傷（肉離れ）検査法
5	大腿四頭筋打撲検査法
6	膝関節側副靭帯損傷検査法
7	膝関節十字靭帯損傷検査法
8	膝関節半月板損傷検査法
9	下腿三頭筋損傷（肉離れ）検査法
10	足関節外側靭帯損傷検査法
11	口頭試問対策（鑑別・合併症）
12	復習
13	プレ試験
14	復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／①	担当者名	黒木　文葉

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	黒木　文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	人体の観察法
2	医療面接、医療面接演習
3	診察の順序、診察の演習
4	頭部および顔面部の診察
5	頚背部の触診　頸部の診察　背部の診察
6	肩部・腰部の触診
7	腰部の診察
8	肩部の診察
9	上腕部・肘部の触診
10	上腕部の診察　肘部の診察
11	前腕部・手部の触診診察
12	手指部・胸部の触診
13	手指部の診察
14	胸部の診察
15	期末試験

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	柔整実技7（総合③）／②	担当者名	浪尾　敬一

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	浪尾　敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	股部の診察
2	殿部の診察
3	大腿部の診察
4	膝部の診察
5	下腿部の診察
6	足部の診察
7	足指部の診察
8	足指部の診察
9	診察シミュレーション①
10	診察シミュレーション②
11	鑑別診断の手法①
12	鑑別診断の手法②
13	徒手検査法①
14	徒手検査法②
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／③	担当者名	田中　満

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数					30	

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	田中　満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	徒手検査法の種類
2	頸部の検査法
3	頸部の検査法演習
4	肩部の検査法
5	肩部の検査法演習
6	肘部の検査法
7	肘部の検査法演習
8	手部の検査法
9	手部の検査法演習
10	股部の検査法と演習
11	膝部の検査法
12	膝部の検査法演習
13	足部の検査法
14	足部の検査法演習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／④	担当者名	社　由洋

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数					30	

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	社　由洋（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	徒手検査法の種類
2	頸部の関節可動域計測
3	頸部の関節可動域計測実技
4	肩関節の関節可動域計測
5	肩関節の関節可動域計測実技
6	肘関節の関節可動域計測
7	肘関節の関節可動域計測実技
8	前腕の関節可動域計測
9	前腕の関節可動域計測実技
10	手関節の関節可動域計測
11	手関節の関節可動域計測実技
12	手指関節の関節可動域計測
13	手指関節の関節可動域計測実技
14	体幹の関節可動域計測
15	体幹の関節可動域計測実技

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／⑤	担当者名	黒木　文葉

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	柔道整復学総論を学習する。 範囲は以下の通りとする。 診察～外傷予防
成績評価	中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。
その他	黒木　文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	鎖骨骨折の考え方と整復法
2	肩鎖関節脱臼の考え方と整復法
3	上腕骨外科頸骨折の考え方と整復法
4	橈骨遠位端部骨折の考え方と整復法　小児の橈骨遠位骨端線離開の考え方と整復法
5	手指骨骨折の考え方と整復法
6	母指MP関節脱臼の考え方と整復法　手指PIP関節脱臼の考え方と整復法
7	肩関節脱臼の考え方と整復法
8	中間試験
9	肘関節脱臼の考え方と整復法
10	股関節脱臼の考え方と整復法
11	膝蓋骨脱臼の考え方と整復法
12	膝蓋骨骨折の考え方と整復法　下腿骨骨幹部骨折の考え方と整復法
13	足指骨骨折の考え方と整復法　足関節果部骨折の考え方と整復法
14	復習
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／⑥	担当者名	黒木文葉、田中　満、浪尾敬一

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	黒木文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、田中　満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、浪尾敬一（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	徒手筋力検査法概論
2	徒手筋力検査法の方法論①
3	徒手筋力検査法の方法論②
4	頸部の徒手筋力検査法
5	頸部の徒手筋力検査法実技
6	肩部の徒手筋力検査法
7	肩部の徒手筋力検査法実技
8	肘部の徒手筋力検査法
9	肘部の徒手筋力検査法実技
10	前腕部の徒手筋力検査法
11	前腕部の徒手筋力検査法実技
12	手部の徒手筋力検査法
13	手部の徒手筋力検査法実技
14	指部の徒手筋力検査法
15	指部の徒手筋力検査法実技

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／⑦	担当者名	宮越亮典、山田眞人、水江弘太

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	教科書を中心に臨床的内容も豊富に講義する。
成績評価	″中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。″
その他	宮越亮典（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）、山田眞人（病院整形外科において整形外科医師として勤務）、水江弘太（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学-理論編　改訂第2版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学－実技編　改訂第6版	（公社）全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	体幹の徒手筋力検査法
2	体幹の徒手筋力検査法実技
3	股部の徒手筋力検査法
4	股部の徒手筋力検査法実技
5	膝部の徒手筋力検査法
6	膝部の徒手筋力検査法実技
7	足部の徒手筋力検査法
8	足部の徒手筋力検査法実技
9	足指部の徒手筋力検査法
10	足指部の徒手筋力検査法実技
11	徒手筋力検査法による評価法①
12	徒手筋力検査法による評価法②
13	各疾患にみられる徒手筋力検査結果①
14	各疾患にみられる徒手筋力検査結果②
15	各疾患にみられる徒手筋力検査結果③

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／⑧	担当者名	社　由洋

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	社　由洋（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	単純X線診断法概論
2	単純X線撮影法
3	単純X線像による評価法
4	頸椎疾患の評価法
5	頸椎疾患の評価実技
6	頸椎疾患に対する処置
7	頸椎疾患に対する処置実技
8	肩部疾患の評価法
9	肩部疾患の評価実技
10	肩部疾患に対する処置
11	肩部疾患に対する処置実技
12	肘部疾患の評価法
13	肘部疾患の評価実技
14	肘部疾患に対する処置
15	肘部疾患に対する処置実技

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	柔整実技7（総合③）／⑨	担当者名	水江　弘太

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	″″″人間の運動に関する基本的な知識を習得する。主に力学や運動器の構造機能、姿勢、歩行、上肢や下肢の運動、脊柱の運動、下肢帯と下肢の運動、上肢帯と上肢の運動について学習する。″″″
成績評価	中間テスト、期末テストを評価とする。 又、出席状況、講義内確認テストの結果も加味する。
その他	水江　弘太（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	運動学　第3版	斉藤宏ほか著	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	運動学の定義
2	上肢帯 ・ 上肢の構造　総論　上肢帯　肩関節
3	肘関節の運動　筋　手関節の運動
4	股関節の運動　膝関節の運動
5	体幹の運動
6	呼吸筋
7	神経
8	中間試験
9	反射と随意運動
10	小脳・機能
11	姿勢　歩行　運動発達　運動学習①
12	姿勢　歩行　運動発達　運動学習②
13	総演習
14	総演習②
15	期末試験

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／⑩	担当者名	黒木　文葉

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	黒木　文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	膝部疾患の評価法
2	膝部疾患の評価実技
3	膝部疾患の処置
4	膝部疾患の処置実技
5	足部疾患の評価法
6	足部疾患の評価実技
7	足部疾患の処置
8	足部疾患の処置実技
9	足指部疾患の評価法
10	足指部疾患の評価実技
11	足指部疾患の処置法
12	足指部疾患の処置実技
13	臨床現場で遭遇しやすい疾患の評価法①
14	臨床現場で遭遇しやすい疾患の評価法②
15	総合演習

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／⑪	担当者名	田中　満

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	田中　満（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	固定材料の種類
2	硬性材料の用い方
3	クラーメル副子の作成法
4	患部にあったクラーメル副子の作成法
5	クラーメル副子の作成①
6	クラーメル副子の作成②
7	クラーメル副子の作成③
8	局所副子の用い方
9	局所副子の作成①
10	局所副子の作成②
11	局所副子の作成③
12	アルフェンスシーネを用いた固定
13	アルフェンスシーネの作成①
14	アルフェンスシーネの作成②
15	総合演習

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／⑫	担当者名	社　由洋

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	社　由洋（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学ー実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	ギプス固定理論
2	ギプスシャーレの作成法
3	ギプスカッターの使用法
4	ギプスの作成①
5	ギプスの作成②
6	ギプスシャーレの作成①
7	ギプスシャーレの作成②
8	キャストライトによる固定理論
9	キャストライトの作成法
10	キャストライトの作成①
11	キャストライトの作成②
12	いろんな材料を用いた固定理論
13	いろんな材料を用いた固定実技①
14	いろんな材料を用いた固定実技②
15	総合演習

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

授業科目名	柔整実技7（総合③）／⑬	担当者名	新地　秀臣

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	新地　秀臣（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	テーピング概論
2	テーピングの種類、テーピング手法の種類
3	テーピングによる固定
4	肩部のテーピング理論
5	肩部のテーピング実技
6	肘部のテーピング理論
7	肘部のテーピング実技
8	手部のテーピング理論
9	手部のテーピング実技
10	手指部のテーピング理論
11	手指部のテーピング実技
12	背部のテーピング理論
13	背部のテーピング実技
14	股部のテーピング理論
15	股部のテーピング実技

九州医療スポーツ専門学校

令和 4年度　柔道整復学科　昼間Ⅱ部

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	柔整実技7（総合③）／⑭	担当者名	黒木　文葉

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数			1		授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	様々な整復法、固定法法を習得し現場で多様な症例に対処できるようになることを目的とする。
成績評価	定期試験および受講態度
その他	黒木　文葉（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	柔道整復学－実技編　改訂第2版	全国柔道整復学校協会	南江堂
参考図書	柔道整復学-理論編　改訂第6版	全国柔道整復学校協会	南江堂

回数	授　業　計　画
1	膝部のテーピング理論
2	膝部のテーピング実技
3	足部のテーピング理論
4	足部のテーピング実技
5	足指部のテーピング理論
6	足指部のテーピング実技
7	足底挿板理論①
8	足底挿板理論②
9	″足底挿板の作成″
10	疾患別足底挿板の改良（考え方）
11	疾患別足底挿板の改良（実技）
12	機能的装具理論
13	機能的装具の改良
14	機能的装具の作成
15	″総合演習″

臨床実習Ⅰ　シラバス

臨床実習	学年	単位	時間数
	1	1	45

担当者　　社　由洋
社　由洋　（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

一般目標	臨床体験、臨床見学を通じて、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに実践的能力を身につける。	
到達目標	1）臨床実習において施術所における施術の一連の流れを理解する。 2）実習施設の業務形態を理解し、スタッフとしての行動ができる。 3）患者に対して、適切な態度で接する。	
学習内容	大項目	中項目
	基礎実習	1）柔道整復師としてふさわしい服装、身だしなみや態度を身につける 2）ベットメイキング、衛生面への配慮 【見学実習】 環境準備 患者さんの誘導実施 【体験実習】 患者として施術を受け、グループディスカッションの実施
	患者さんに対する対応	1）患者に適切な対応ができる 2）患者の抱える問題点に共感できる
	施術録作成・症例検討	1）施術録の記載項目を理解できる。
	保険請求	1）社会保障制度と受領委任払いの説明ができる
	評価	個人レポート、臨床実習指導者、実習調整者の評価などを総合的に評価する

臨床実習Ⅱ　シラバス

臨床実習	学年	単位	時間数
	2	1	45

担当者　　社　由洋
社　由洋　（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

一般目標	臨床体験、臨床見学を通じて、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに実践的能力を身につける。	
到達目標	1）臨床実習において施術所における施術の一連の流れを理解する。 2）実習施設の業務形態を理解し、スタッフとしての行動ができる。 3）患者に対して、適切な態度で接する。 4）付帯業務などの課題が解決できる。	
学習内容	大項目	中項目
	基礎実習	1）柔道整復師としてふさわしい服装、身だしなみや態度を身につける 2）医療面接の実施 3）ROM,MMTなどを計測、評価の実施 4）神経学的検査、脈管検査、評価の実施 5）治療機器の効果、禁忌の理解 6）ベットメイキング、衛生面への配慮 【見学実習】 環境準備 受付業務 患者さんの誘導実施 【体験実習】 医療面接および所見を記載する。
	患者さんに対する対応	1）患者に適切な対応ができる 2）患者の抱える問題点に共感できる
	施術録作成・症例検討	1）施術録の作成 2）症例検討の実施
	保険請求	1）手続きの意義 2）記載方法の実施
	評価	個人レポート、臨床実習指導者、実習調整者の評価などを総合的に評価する

臨床実習Ⅲ　シラバス

臨床実習	学年	単位	時間数
	2	1	45

担当者　　社　由洋
社　由洋　（柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

一般目標	臨床体験、臨床見学を通じて、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに実践的能力を身につける。	
到達目標	1）臨床実習において施術所における施術の一連の流れを理解する。 2）実習施設の業務形態を理解し、スタッフとしての行動ができる。 3）患者に対して、適切な態度で接する。 4）実習指導者に模擬的に行為が実施できる。	
学習内容	大項目	中項目
	基礎実習	1）柔道整復師としてふさわしい服装、身だしなみや態度を身につける 2）医療面接の実施 3）ROM,MMTなどを計測、評価の実施 4）神経学的検査、脈管検査、評価の実施 5）治療機器の効果、禁忌の理解 6）ベットメイキング、衛生面への配慮 【見学実習】 環境準備 受付業務 患者さんの誘導実施 【体験実習】 臨床実習指導者に対して模擬的に行為を行う。
	患者さんに対する対応	1）患者に適切な対応ができる 2）患者の抱える問題点に共感できる 3）自己の問題点を抽出し、解決できる。
	施術録作成・症例検討	1）施術録の作成 2）症例検討の実施
	保険請求	1）手続きの意義 2）記載方法の実施
	評価	個人レポート、臨床実習指導者、実習調整者の評価などを総合的に評価する

臨床実習Ⅳ シラバス

臨床実習	学年	単位	時間数
	3	1	45

担当者　社 由洋
社 由洋 （柔道整復施術所において柔道整復師として勤務）

一般目標	臨床体験、臨床見学を通じて、臨床に携わる者としての態度・習慣、ならびに実践的能力を身につける。	
到達目標	1）臨床実習において施術所における施術の一連の流れを理解する。 2）実習施設の業務形態を理解し、スタッフとしての行動ができる。 3）患者に対して、適切な態度で接する。 4）指導・監視下のもと施術の介助ができる。	
学習内容	大項目	中項目
	基礎実習	1）柔道整復師としてふさわしい服装、身だしなみや態度を身につける 2）医療面接の実施 3）ROM,MMTなどを計測、評価の実施 4）神経学的検査、脈管検査、評価の実施 5）治療機器の効果、禁忌の理解 6）ベットメイキング、衛生面への配慮 【見学実習】 環境準備 受付業務 患者さんの誘導実施 【体験実習】 指導・監視下のもと施術の介助を行う。
	患者さんに対する対応	1）患者に適切な対応ができる 2）患者の抱える問題点に共感できる 3）自己の問題点を抽出し、解決できる。
	施術録作成・症例検討	1）施術録の作成 2）症例検討の実施
	保険請求	1）手続きの意義 2）記載方法の実施
	評価	個人レポート、臨床実習指導者、実習調整者の評価などを総合的に評価する